

授業改善推進プラン【 1年 】

令和7年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)
国語	・言葉に関心をもち、音読や言葉集めに意欲的に取り組む児童が多い。 ・ひらがなの読み書きは、概ね定着してきている。長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞を正確に書くことには、課題が見られる児童もいる。 ・身近なことを簡単な文で書き表すことは、まだ練習が必要である。できてきたが、思い等を入れて表現することに課題がある。 ・発表に積極的な児童が多い。一方で、自分の考えを適切で丁寧な言葉を用いながら、話す話し方には慣れていない児童も多い。	・言葉集めだけでなく、観察カードや日記を書く活動を通して、自分の行動だけでなく、思いも表現できる力を高められるようにする。 ・長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞を正確に書けるように、視写や練習プリントで補習する機会を設けながら、書く活動を増やしていく。 ◎ベアや少人数グループで自分の考えや思いを伝えさせる活動を取り入れたり、身に付けた知識や技能を使って考えを表現できる学習活動を展開したりする。
算数	・1けたのたし算ひき算の計算に意欲的に取り組む児童が多い。 ・文章から課題の場面を正確に理解し、立式することができない児童がいる。 ・集合数と順序数について正確に理解していない児童がいる。 ・10より小さい数の合成・分解が十分に定着していない。	◎具体物、半具体物を用いたり、問題場面を絵図で表したりする活動を通して、問題場面のイメージをもたせる。 ・学習した内容を確実に習得するために、定期的に反復練習(東京ベーシックドリルも用いる)を行う。 ・補習日に学習者用端末などを利用して、1桁のたし算ひき算の計算練習や時計の読み方に取り組み、基本的な学習内容の定着を図る。
生活	・身近な人々や自然と関わることを楽しむ児童が多い。 ・栽培活動などを通して、生き物を大切にする姿が見られる。 ・学習したことを絵や簡単な文章で表すことのできる児童が多い。	◎身近な自然や人と関わる体験的な活動を多く取り入れ、みんながよりよい生活ができるようにするにはどうしたらいいかを考えられるようにする。 ・地域の特性や人材を生かし、身近な自然や人のよさを十分に味わうことができるようにする。 ・児童それぞれの思いや願いを大切にし、その思いや願いを伝え合う活動を通して、すすんで自然、人、物に関わるようにする。
音楽	・歌に親しみ、すすんで歌うことが意欲的にできる児童がとも多い。 ・拍に合わせて動いたり、手を打ったりする身体表現がぎこちない児童もいる。 ・鍵盤ハーモニカの学習は、吹くときの息の強さやタンギングを意識させながら進めているが、運指については個人差がある。	◎音や拍を感じて体を動かす楽しさや、音楽を聴いてよさや面白さを味わうことができるようにする。 ・常時活動を通して、身体表現や歌い方など継続的に身に付けさせる。 ・鍵盤ハーモニカの指導は、指使いを確認したり指のみを動かしたりする時間もとり、基礎の定着を図る。 ・音楽やリズムに合わせて体を動かすなどの身体表現を取り入れ、様々なリズムやテンポの楽曲に親しませることで、表現の楽しさを味わえるようにする。
図工	・ハサミや描画材の基本的な扱いは身に付いており、工夫して表すこともできる。 ・自分の考えを述べたり、友達のよさや違いを見付けたりすることが苦手な児童も一部いる。 ・どの活動にも意欲的に取り組んでいる。	◎活動を通して考えたことを友達と共有する時間を大事にしていく。 ・児童の興味関心を大切にし、表現することの楽しさを感じられる題材を設定する。 ・題材によって材料の厚みや種類などを変え、その違いや扱いを感じられるようにする。 ・お互いのよさや違いを見付け、伝え合う時間を設けていく。
体育	・体を動かすことが好きな児童が多く、学習に意欲的である。 ・経験の少ない運動も、体の動かし方が分かるとできるようになり、器用な児童が多い。 ・きまりを守って運動することが難しい児童がいる。 ・自分で工夫して練習に取り組める児童は少ない。	◎自分のめあてを選ぶことや、振り返りをする事で、自分ができるようになったことと課題を見付けさせる。 ・短く具体的な指示を与え、スモールステップで技能の習得が図れるようにする。 ・全身運動を思い切り行う時間を確保し、きまりを守って仲良く運動ができるようにする。 ・工夫して練習等に取り組めるよう、よい動きや練習方法を取り上げ、見合ったりする時間を設ける。
特活	・積極的に当番活動に取り組んでいる児童が多い。 ・学級会では、自分の意見を伝えることはできるが、友達の意見を聞き入れたり、意見同士を組み合わせたりしながら合意形成をする経験が少ない。	◎よりよい生活築くために、話し合いなどの対話を大切にする。 ・当番での行動が称賛される場を設けることで、さらに意欲的に取り組めるようにする。 ・2学期から係活動にも取り組ませていく。 ・見通しをもって取り組めるよう、司会グループの打ち合わせや司会台本を工夫する。 ・学級会で話し合う経験を積ませ、年度末までに自分たちの力で合意形成が図れるようにする。
道徳	・教材等をもとに、自分の考えを発表できる児童が多い。 ・登場人物の心情を考え、道徳的価値を理解できる児童が多い。 ・自分の考えや振り返ったことを表現できるようにしていく必要がある。	◎B「主として人との関わりに関すること」を重点に指導する。問題場面を役割演技等で再現することを通して、自分事として捉えられるようにする。 ・具体的な場面を例示し、自分ならどう行動するかを考える場面を設定する。 ・自分の考えをもち、意思表示したり自分の考えをワークシートに書いたりする学習活動を設定していく。